

イカナゴ（コウナゴ）情報 No. 3

5月15日時点の主体は体長33～35mm前後、26mm前後。
体長50mmを超える群れも増加。

中央水産試験場
後志地区水産技術普及指導所岩内支所

調査の概要

前回（4月27～5月7日）のイカナゴ（コウナゴ）情報No. 2に続き、5月8日～5月15日に採集していただいた島牧海域のコウナゴ漁獲物標本の体長を測定しましたので、現在までの漁獲物の推移をお知らせします。

コウナゴの体長の推移（右図）

前回5月7日にみられた体長20mm台後半の小型群は、5月15日に体長33～35mm前後に成長して、漁獲物の主体となっていました。また、5月6日にみられた10mm台後半の群れは、5月15日に体長26mm前後まで成長していました。また、5月13日以降、体長50mmを超える群れも多くなってきました。

今後の成長について

成長速度は前回同様、1日あたり0.8～1.0mmと例年よりやや速くなっています。このままの速度で成長すると、5月15日の各群れが50mmを超える時期は、33～35mm前後が5月末、26mm前後が6月上旬頃になると予想されます。

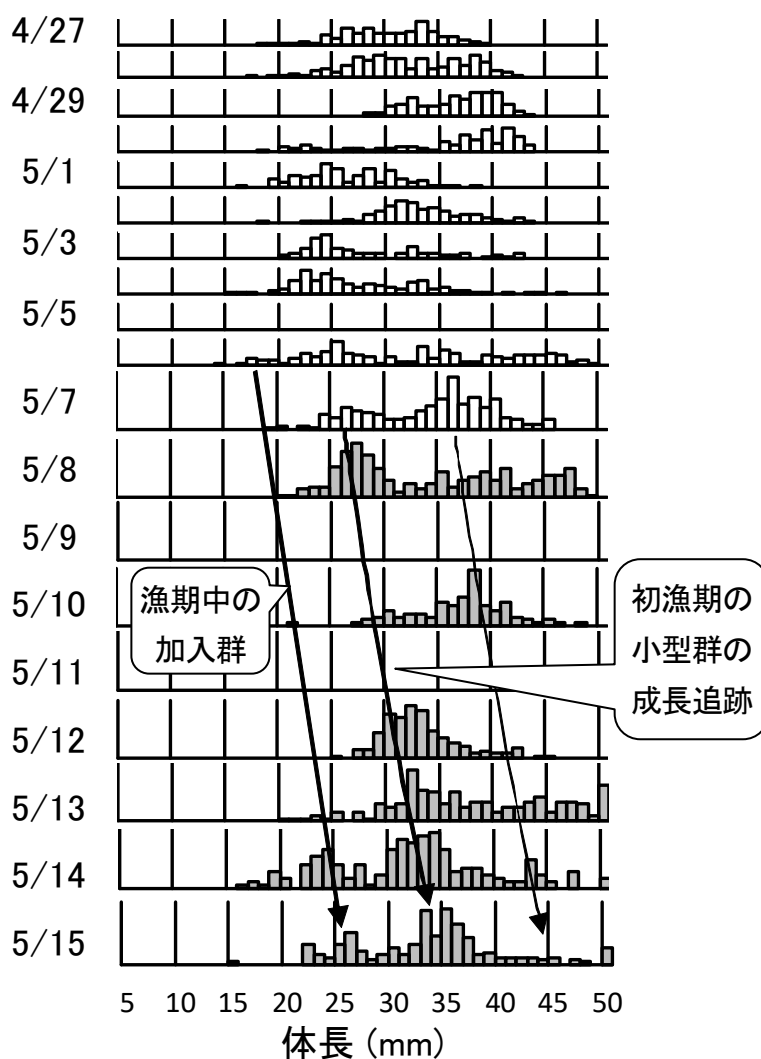


図 コウナゴの体長組成の変化

（灰色：5/8～5/15，白色：4/27～5/7）